

令和2年

三重県議会定例会会議録

(5 月 15 日)
(第 12 号)

令和 2 年

三重県議会定例会会議録

第 12 号

○令和 2 年 5 月 15 日（金曜日）

議事日程（第12号）

令和 2 年 5 月 15 日（金） 午前10時開議

- 第 1 常任委員会の委員定数変更の件
- 第 2 常任委員選任の件
- 第 3 議会運営委員選任の件
- 第 4 特別委員会設置並びに委員定数の件
- 第 5 特別委員選任の件
- 第 6 四日市港管理組合議会議員選挙の件
- 第 7 議案第102号

〔採決〕

会 議 に 付 し た 事 件

- 日程追加 議長辞職の件
- 日程追加 議長選挙の件
- 日程追加 副議長辞職の件
- 日程追加 副議長選挙の件
- 日程第 1 常任委員会の委員定数変更の件
- 日程第 2 常任委員選任の件
- 日程第 3 議会運営委員選任の件
- 日程第 4 特別委員会設置並びに委員定数の件
- 日程第 5 特別委員選任の件

日程追加 常任委員辞任の件
日程第6 四日市港管理組合議会議員選挙の件
日程第7 議案第102号

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 51名

1	番	川	口	円
2	番	喜	田	健 児
3	番	中	瀬	信 之
4	番	平	畑	武
5	番	石	垣	智 矢
6	番	小	林	貴 虎
7	番	山	本	佐知子
8	番	山	崎	博
9	番	中	瀬古	初 美
10	番	廣		耕太郎
11	番	下	野	幸 助
12	番	田	中	智 也
13	番	藤	根	正 典
14	番	小	島	智 子
15	番	木	津	直 樹
16	番	田	中	祐 治
17	番	野	口	正
18	番	倉	本	崇 弘
19	番	野	村	保 夫
20	番	山	内	道 明
21	番	山	本	里 香
22	番	稲	森	稔 尚

23	番	濱	井	初	男
24	番	森	野	真	治
25	番	津	村		衛
26	番	杉	本	熊	野
27	番	藤	田	宜	三
28	番	稻	垣	昭	義
29	番	石	田	成	生
30	番	小	林	正	人
31	番	服	部	富	男
32	番	谷	川	孝	栄
33	番	東			豊
34	番	長	田	隆	尚
35	番	奥	野	英	介
36	番	村	林		聡
37	番	今	井	智	広
38	番	北	川	裕	之
39	番	日	沖	正	信
40	番	舟	橋	裕	幸
41	番	三	谷	哲	央
43	番	中	村	進	一
44	番	津	田	健	児
45	番	中	嶋	年	規
46	番	青	木	謙	順
47	番	中	森	博	文
48	番	前	野	和	美
49	番	舘		直	人
50	番	山	本	教	和
51	番	西	場	信	行

52 番 中 川 正 美
(42 番 欠 番)

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	湯 浅 真 子
書 記 (事務局次長)	畑 中 一 宝
書 記 (議事課長)	西 塔 裕 行
書 記 (企画法務課長)	枅 屋 武
書 記 (議事課課長補佐兼班長)	平 井 利 幸
書 記 (議事課主査)	岡 野 俊 之
書 記 (議事課主査)	中 西 孝 朗

会議に出席した説明員の職氏名

知 事	鈴 木 英 敬
副 知 事	稲 垣 清 文
副 知 事	廣 田 恵 子
危機管理統括監	服 部 浩
総 務 部 長	紀 平 勉

午前10時0分開議

開 議

○議長 (中嶋年規) ただいまから本日の会議を開きます。

諸 報 告

○議長 (中嶋年規) 日程に入るに先立ち、報告いたします。

説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり出席を求めました。

以上で報告を終わります。

休 憩

○議長（中嶋年規） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前10時1分休憩

午前10時2分開議

開 議

○副議長（北川裕之） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・議長の辞職

○副議長（北川裕之） この際、申し上げます。

中嶋年規議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。中嶋年規議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（北川裕之） 御異議なしと認めます。よって、中嶋年規議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔45番 中嶋年規議員入場・着席〕

○副議長（北川裕之） 前議長 中嶋年規議員の御挨拶があります。

〔45番 中嶋年規議員登壇〕

○45番（中嶋年規） 第109代、令和初の三重県議会議長として、昨年5月に皆様に御推挙していただいて以来、県民起点の議会運営、全体最適の議会運営、時代の変化に敏感な議会運営、これらを実現し、1年間全力で取り組むことができたと思っております。皆様大変ありがとうございました。

37年ぶりの4大会派、全体で7会派という多彩な議会構成の下、北川裕之

副議長の絶大なるサポートをはじめ、議員各位の御理解と御協力、湯浅事務局長をはじめとする議会事務局職員の皆さんの御支援、知事はじめ県当局の真摯な対応の下、様々な課題に挑戦した1年でありました。

知事の年齢と議長である私の年齢を足すと、全国で一番若いペアということも手伝って、全国の都道府県議会から注目される中、鈴木英敬知事とともに、CSF対策としての飼養豚へのワクチン接種の実現、来年開催が決定した太平洋・島サミットの誘致の成功、脱炭素社会を目指すミッションゼロ2050宣言などの成果を得ることができました。

県議会におきましても、みえ県民カビジョン・第三次行動計画への提言とその反映、懸案でありました土砂条例や水産業、漁村振興条例の制定、子どもを虐待から守る条例の改正などを成し遂げていただきました。

さらに、緊急事態への対応に関する県議会指針に基づく災害対策会議の初運用などの成果を得ることができたと思っております。

一方で、CSF、新型コロナウイルス感染症という目に見えない敵との闘いは、今続いています。

また、選挙区及び定数に関する在り方調査会については、まさに議論の最中、これからが正念場であります。

加えて、議会としてのリスクマネジメントのさらなる向上など、大きな課題が残っています。

特に、新型コロナウイルス感染症対策は感染拡大阻止と社会経済活動の回復、命と経済の両立を図っていく新たなステージに立っております。県民の皆様への不安と不満を吹き飛ばすため、私たち県議会の真価が問われています。

こうした課題に果敢に挑戦するべく、二元代表制の一翼を担う県議会としてスピード感ある決断力、リスク情報を中心とした高い情報収集力、県民や知事を納得させる説得力、これらをしっかりと磨き、三重県議会をさらに前へ進めていくことが必要であると思っております。私も、今後は一議員として、微力ながら皆様とともに努力してまいる所存であります。

最後に、平成から令和への御代替わりというこの歴史的なタイミングに、

三重県議会議長として一生に一度の経験を得る栄に浴することができたのも、ここにいらっしゃる議員の皆様のおかげでありまして、改めて感謝を申し上げます。

三重県議会のさらなる進化と県政の発展、県民の幸福実感度のさらなる向上を祈念いたしまして、私からの退任の挨拶とさせていただきます。1年間、誠にありがとうございました。（拍手）

日程追加・議長の選挙

○副議長（北川裕之） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、議長選挙の件を日程に追加し、直ちに議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議場閉鎖〕

○副議長（北川裕之） ただいまの出席議員数は51名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

1番 川口 円 議員

18番 倉本 崇弘 議員

を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（北川裕之） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、1番川口円議員、18番 倉本崇弘議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○副議長（北川裕之） 投票用紙と名札の配付漏れはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（北川裕之） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

○副議長（北川裕之） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番川口円議員から順次投票をお願いします。

〔投票執行〕

○副議長（北川裕之） 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（北川裕之） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○副議長（北川裕之） これより開票を行います。

立会人の方、立会いをお願いいたします。

〔開票〕

○副議長（北川裕之） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 51票

有効投票 42票

無効投票 9票

有効投票中

日 沖 正 信 議員 42票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は11票であります。よって、日沖正信議員が議長に当選されました。（拍手）

投 票 者 氏 名

1	番	川 口	円
2	番	喜 田	健 児
3	番	中 瀬	信 之
4	番	平 畑	武
5	番	石 垣	智 矢
6	番	小 林	貴 虎
7	番	山 本	佐知子
8	番	山 崎	博
9	番	中瀬古	初 美
10	番	廣	耕太郎
11	番	下 野	幸 助
12	番	田 中	智 也
13	番	藤 根	正 典
14	番	小 島	智 子
15	番	木 津	直 樹
16	番	田 中	祐 治
17	番	野 口	正
18	番	倉 本	崇 弘
19	番	野 村	保 夫
20	番	山 内	道 明
21	番	山 本	里 香
22	番	稲 森	稔 尚
23	番	濱 井	初 男
24	番	森 野	真 治
25	番	津 村	衛
26	番	杉 本	熊 野
27	番	藤 田	宜 三

28	番	稲垣	昭義
29	番	石田	成生
30	番	小林	正人
31	番	服部	富男
32	番	谷川	孝栄
33	番	東	豊
34	番	長田	隆尚
35	番	奥野	英介
36	番	村林	聡
37	番	今井	智広
38	番	北川	裕之
39	番	日沖	正信
40	番	舟橋	裕幸
41	番	三谷	哲央
43	番	中村	進一
44	番	津田	健児
45	番	中嶋	年規
46	番	青木	謙順
47	番	中森	博文
48	番	前野	和美
49	番	舘	直人
50	番	山本	教和
51	番	西場	信行
52	番	中川	正美

○副議長（北川裕之） 議長に当選されました日沖正信議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

日沖正信議長、御挨拶を願います。

〔日沖正信議長登壇〕

○議長（日沖正信） それでは、議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいまの議長選挙におきまして、皆様の温かい御支持をいただき、第110代三重県議会議長の重責を担うこととなりました。誠に身に余る光栄であり、御厚情に対しまして心より感謝を申し上げます。

この上は、議長の職責の重さを胸に刻み、三重県議会基本条例の基本理念と基本方針に基づき、二代表制の下で議会改革を推し進め、三重県政の進展と円滑な議会運営のために全力を尽くす覚悟でございます。

議員の皆様の御指導、御鞭撻、そして知事をはじめ執行部の皆様方の御協力を賜りますよう心からお願いを申し上げて、就任の挨拶とさせていただきます。

前中嶋議長の御功績に学ばせていただきながら、しっかりと務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。（拍手）

○副議長（北川裕之） 日沖正信議長、議長席にお着き願います。

〔北川裕之副議長退席・退場、日沖正信議長議長席に着く〕

日程追加・副議長の辞職

○議長（日沖正信） この際、申し上げます。

北川裕之副議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。北川裕之副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、北川裕之副議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔38番 北川裕之議員入場・着席〕

○議長（日沖正信） 前副議長 北川裕之議員の御挨拶があります。

〔38番 北川裕之議員登壇〕

○38番（北川裕之） 失礼いたします。

昨年5月に、第113代三重県議会副議長に就任させていただきました。果たしてお役に立つことができるのかと大変心配したところですが、中嶋前議長、そして議員各位の皆様、知事をはじめ執行部、そして議会事務局の皆さんにお支えをいただき、今日まで何とか務めさせていただきました。心から感謝を申し上げる次第です。

この1年間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という今までに経験したことの無い事象のインパクトが大きく、感染症対策が県議会にとって最大の取組になった感がございます。

昨日、三重県は緊急事態宣言が解除されましたが、予断を許さない状況にあり、県議会も引き続きしっかりとその役目を果たしていかなくてはなりません。

議会運営では、議長をしっかりと補佐し、円滑な運営に努めてまいりましたが、至らないところも多々あったかと存じます。お許しをいただきたいと存じます。

副議長の最大のミッション、広聴広報につきましては、成果を出せたものもあれば、道半ばのものもございます。

県議会は何となく遠い存在、何をやっているのかよく分からないと、県民の皆様の声としてあることにじくじたる思いを持ってまいりました。少しでも県議会に関心を持っていただこうと、みえ現場で県議会では、テーマと参加団体を初めて県民の皆さんから公募いたしました。結果、若者県内定着というテーマで若い世代の皆さん等に多く参加いただき、非常に有意義なディスカッションができました。

出前講座もたくさん申込みをいただき、7校、延べ491人の子どもたちにお話を聞いていただきました。アンケート結果も非常に評価が高く、担当いただいた広聴広報委員の皆様のご熱意と工夫がうかがえるところです。今後も、

若い世代に県議会をより知っていただく観点から、積極的に取組を続けてい
ただきたいと願っています。

ただ、残念ながら、感染リスクから、この出前講座も当面は募集を停止さ
せていただき、また、8月開催予定であった高校生県議会も中止とさせてい
ただくこととなりました。今後の実施再開につきましては、次の広聴広報会
議のメンバーに委ねたいと存じます。

広報では、昨年春に県議会のフェイスブックページがスタートしましたが、
タイムリーな情報をすぐにアップしていけるツールとして、これからも積極
的な活用を進めていただきたいと思います。

一方、広報紙、みえ県議会だよりは、思い切った紙面作りを果たせず、課
題を残すこととなりました。座長としての力不足を感じております。

ただ、アンケート調査では、県民の皆様が県議会の情報を得るツールとし
ては、みえ県議会だよりが最も活用されていることを考えると、その充実
は欠かせないものと考えます。改善について、次の副議長、広聴広報会議のメ
ンバーに期待したいと存じます。

最後に、皆様には1年間大変お世話になりました。副議長退任後は、この
1年間の経験を生かし、一議員としてしっかりと議会活動に励んでまいりま
す。引き続きの御指導、よろしく願い申し上げます。ありがとうございました。
(拍手)

日程追加・副議長の選挙

○議長（日沖正信） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、副議長選挙の件を日程に追加し、直
ちに副議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議 場 閉 鎖〕

○議長（日沖正信） ただいまの出席議員数は51名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

5番 石垣智矢議員

19番 野村保夫議員

を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、5番石垣智矢議員、19番野村保夫議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○議長（日沖正信） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

○議長（日沖正信） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番川口円議員から順次投票を願います。

〔投票執行〕

○議長（日沖正信） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○議長（日沖正信） これより開票を行います。

立会人の方、立会いを願います。

[開 票]

○議長（日沖正信） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 51票

有効投票 41票

無効投票 10票

有効投票中

服部富男議員 41票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は11票であります。よって、服部富男議員が副議長に当選されました。

投 票 者 氏 名

1	番	川 口	円
2	番	喜 田	健 児
3	番	中 瀬	信 之
4	番	平 畑	武
5	番	石 垣	智 矢
6	番	小 林	貴 虎
7	番	山 本	佐知子
8	番	山 崎	博
9	番	中瀬古	初 美
10	番	廣	耕太郎
11	番	下 野	幸 助
12	番	田 中	智 也
13	番	藤 根	正 典
14	番	小 島	智 子
15	番	木 津	直 樹
16	番	田 中	祐 治

17	番	野	口	正
18	番	倉	本	弘
19	番	野	村	保
20	番	山	内	道
21	番	山	本	里
22	番	稻	森	稔
23	番	濱	井	初
24	番	森	野	真
25	番	津	村	衛
26	番	杉	本	熊
27	番	藤	田	宜
28	番	稻	垣	昭
29	番	石	田	成
30	番	小	林	正
31	番	服	部	富
32	番	谷	川	孝
33	番	東		豐
34	番	長	田	隆
35	番	奥	野	英
36	番	村	林	
37	番	今	井	智
38	番	北	川	裕
39	番	日	沖	正
40	番	舟	橋	裕
41	番	三	谷	哲
43	番	中	村	進
44	番	津	田	健
45	番	中	嶋	年

46	番	青	木	謙	順
47	番	中	森	博	文
48	番	前	野	和	美
49	番	舘		直	人
50	番	山	本	教	和
51	番	西	場	信	行
52	番	中	川	正	美

○議長（日沖正信） 副議長に当選されました服部富男議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

服部富男副議長、御挨拶を願います。

〔服部富男副議長登壇〕

○副議長（服部富男） 副議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま多くの議員の皆様の御推挙により、第114代三重県議会副議長の要職を担うこととなりました。大変光栄に存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。改めて、議員の皆様の御高配に対しまして、心より御礼を申し上げます。

この上は、微力ではございますが、議長を補佐し、円滑な議会運営と県政発展のため最善の努力をしまいる所存でございます。議員の皆様の御指導、並びに知事はじめ執行部の方々の御協力をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。どうぞよろしく願い申し上げます。（拍手）

休 憩

○議長（日沖正信） ここで暫時休憩いたします。

午前10時49分休憩

午前11時17分開議

開 議

○議長（日沖正信） 休憩前に引き続き会議を開きます。

常任委員会の委員定数変更

○議長（日沖正信） 日程第1、常任委員会の委員定数変更の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員定数は、戦略企画雇用経済常任委員会8名、環境生活農林水産常任委員会9名、医療保健子ども福祉病院常任委員会9名、防災県土整備企業常任委員会8名といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、常任委員会の委員定数は、戦略企画雇用経済常任委員会8名、環境生活農林水産常任委員会9名、医療保健子ども福祉病院常任委員会9名、防災県土整備企業常任委員会8名とすることに決定いたしました。

常 任 委 員 の 選 任

○議長（日沖正信） 日程第2、常任委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の各常任委員名簿のとおりにそれぞれ指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、それぞれ議長指名のとおりに決定いたしました。

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	総務地域連携 (9名)	戦略企画雇用経済 (8名)	環境生活農林水産 (9名)	医療保健子ども福祉院 (9名)	防災県土整備企業 (8名)	教育警察 (8名)
新政	みえ	4名 平畑 武 津村 衛 北川 裕 中村 進	3名 喜田 健 廣 耕 三 太郎 谷 哲 央	4名 中瀬 古 下野 幸 藤田 宜 日 沖 正 信	4名 川口 智 田中 野 森 真 舟 橋 裕 幸	3名 中瀬 信 藤根 正 杉 野	3名 小島 智 濱 井 稲垣 初 昭 義
自由 県	民主 議	2名 野口 正 中嶋 年 規	3名 木津 直 青木 謙 中 森 博 文	2名 石垣 智 津田 健 児	2名 山崎 博 服部 富 男	3名 山本 佐 田中 祐 小林 正 人	3名 小林 貴 石田 成 前野 和 美
草	莽	1名 長田 隆 尚	1名 奥野 英 介	1名 東 豊	1名 倉本 崇 弘	1名 舘 直 人	1名 谷川 孝 栄
自 民 党	党	1名 野村 保 夫	1名 山本 教 和	1名 西場 信 行	1名 中川 正 美	1名 村 林 聡	
公 明 党	党	1名 山内 道 明			1名 今井 智 広		
日 本 共 産 党	党						1名 山本 里 香
草の根運動い が			1名 稲森 稔 尚				

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	予算決算 (50名)
新政	えみ	川口 中瀬 藤 津 北 丸美典 衛之 健耕 智野 幸 田島本 熊裕 喜廣小 杉舟 兒太郎 子野 幸 中下濱 藤三 瀬野井 田谷 信幸初 宜哲 之助男 三央 畑中野 垣村 平田森 稲中 武也治 義一 智真昭 進一
		20名
自由民主党 議団		石垣 木津 小青 矢樹 正人 順 小林 直正 謙 小田服 中森 林祐富 博文 貴治男 文 中山 津前 山野 津前 山本口 田野 佐知子 正兒 美 崎田 嶋 山中 嶋 山石中 博生規
		15名
草	莽	倉本 奥 野弘 介 崇英 介 谷川 鋤 孝直 人 栄直 人 東 豊 長田 隆尚
自	民 党	野村 保夫 中 村林 聡 山本 教和 西場 信行 5名
公	明 党	山内 道明 今井 智広 2名
日	本 共 産 党	山本 里香 1名
草	の 根 運 動 い が	稲森 稔 尚 1名

議 会 運 営 委 員 の 選 任

○議長（日沖正信） 日程第3、議会運営委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の議会運営委員名簿のとおり指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定いたしました。

議 会 運 営 委 員 名 簿

会派	委員会名 (定数)	議 会 運 営 (9名)
新 政 み え		4名
		森 野 真 治
		津 村 衛
		稲 垣 昭 義 三 谷 哲 央
自 由 民 主 党 県 議 団		3名
		石 田 成 生
		小 林 正 人 津 田 健 児
草 莽		1名 長 田 隆 尚
自 民 党		1名 村 林 聡
公 明 党		
日 本 共 産 党		
草 の 根 運 動 い が		

特別委員会設置並びに委員定数

○議長（日沖正信） 日程第4、特別委員会設置並びに委員定数の件を議題といたします。

お諮りいたします。特別委員会の設置並びに委員定数につきましては、お手元に配付の一覧表のとおりとし、審査終了まで継続調査を認めることといたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、特別委員会の設置並びに委員定数につきましては、お手元に配付の一覧表のとおりとし、審査終了まで継続調査を認めることに決定いたしました。

特別委員会設置一覧表

名 称	所 管 事 項	定数
差別解消を目指す条例検討調査特別委員会	様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査・検討を行うこと。	11

特別委員の選任

○議長（日沖正信） 日程第5、特別委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の特別委員名簿のとおり指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定いたしました。

特別委員名簿

会派	委員会名 (定数)	差別解消を目指す条例検討調査 (11名)
新 政 み え		4名
		小 島 智 子
		藤 田 宜 三
		北 川 裕 之
自 由 民 主 党 県 議 団		3名
		石 垣 智 矢
		小 林 貴 虎
草 莽		1名
		東 豊
自 民 党		
公 明 党		1名 山 内 道 明
日 本 共 産 党		1名 山 本 里 香
草 の 根 運 動 い が		1名 稲 森 稔 尚

休 憩

○議長（日沖正信） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前11時20分休憩

午前11時21分開議

開 議

○副議長（服部富男） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・常任委員の辞任

○副議長（服部富男） この際、申し上げます。

日沖正信議員から環境生活農林水産常任委員の辞任願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、常任委員会辞任の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。委員会条例第10条第1項の規定により、日沖正信議員の環境生活農林水産常任委員の辞任を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（服部富男） 御異議なしと認めます。よって、日沖正信議員の環境生活農林水産常任委員の辞任を許可することに決定いたしました。

この際、申し上げます。

ただいま選任されました各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の委員の方々は、それぞれの委員会において委員長及び副委員長互選の上、御報告を願います。

休 憩

○副議長（服部富男） 常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の委員長及び副委員長互選のため、暫時休憩いたします。

午前11時23分休憩

午後1時0分開議

開 議

○議長（日沖正信） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

諸 報 告

○議長（日沖正信） この際、報告いたします。

各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会において、それぞれ委員

長及び副委員長を、お手元に配付の委員長及び副委員長名簿のとおり互選した旨の報告がありました。

次に、議案第102号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。
以上で、報告を終わります。

委員長及び副委員長名簿

(各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会)

委員会	委員長	副委員長
総務地域連携常任委員会	野村 保夫	平畑 武
戦略企画雇用経済常任委員会	木津 直樹	廣 耕太郎
環境生活農林水産常任委員会	中瀬古初美	石垣 智矢
医療保健子ども福祉病院常任委員会	倉本 崇弘	川口 円
防災県土整備企業常任委員会	藤根 正典	山本佐知子
教育警察常任委員会	濱井 初男	小林 貴虎
予算決算常任委員会	杉本 熊野	野口 正
議会運営委員会	森野 真治	石田 成生
差別解消を目指す条例検討調査特別委員会	北川 裕之	山崎 博

提出議案件名

議案第102号 監査委員の選任につき同意を得るについて

四日市港管理組合議会議員の選挙

○議長（日沖正信） 日程第6、四日市港管理組合議会議員の選挙を行います。

なお、選挙すべき議員の数は3名であります。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条の規定により指名推選とし、指名の方法は、議長において指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認め、ただいまから指名いたします。

杉本熊野議員

小林正人議員

長田隆尚議員

以上の方々を指名いたします。

ただいま指名いたしました3名の方を当選人と認めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） では、御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました3名の方が四日市港管理組合議会議員に当選されました。

当選されました方が議場におられますので、当選の通知をいたします。

監 査 委 員 の 選 任

〔12番 田中智也議員、16番 田中祐治議員離席・退場〕

○議長（日沖正信） 日程第7、議案第102号を議題といたします。

お諮りいたします。本件は人事案件につき、提案説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

採 決

○議長（日沖正信） これより採決に入ります。

議案第102号を起立により採決いたします。

本案に同意することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（日沖正信） 起立全員であります。よって、本案は同意することに決定いたしました。

〔12番 田中智也議員、16番 田中祐治議員入場・着席〕

○議長（日沖正信） これをもって本日の日程は終了いたしました。

休 会

○議長（日沖正信） お諮りいたします。明16日から6月2日までは委員会の所管事項調査のため休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認め、明16日から6月2日までは委員会の所管事項調査等のため休会とすることに決定いたしました。

6月3日は、定刻より本会議を開きます。

散 会

○議長（日沖正信） 本日はこれをもって散会いたします。御苦労さまでございました。

午後1時4分散会